

新春のごあいさつ



**京悠会が誕生して15年
皆さまの励まし、助けがあって
【 今日 】があります**



社会福祉法人 京悠会
理事長 岡田 京子

2019年の新春を迎えました。

ここに謹んでご挨拶を申し上げます。
日頃より、社会福祉法人京悠会の運営にひとかたならぬご理解とご支援を賜り、京悠会を代表して心から厚くお礼を申し上げます。

介護と医療の連携強化

お陰様をもちまして、京悠会が今年満15年を迎えることができました。右も左も分からないままに飛び込んだ福祉の道。仲間と寝食を共にしながら、無我夢中で走り続ける毎日でした。

今、こうして過ぎた日々を振り返ってみるとお世話になった沢山の方々の顔が浮かびます。あらためて皆さまの励ましと助けがあったことを実感しました。

これからも充実した施設運営のため、職員一同、渾身の力を注いでいく所存です。

さらに介護と医療の連携強化に努め、循環する相互福祉の創造、また、安心できる地域に根差した介護サービスの提供を目指します。

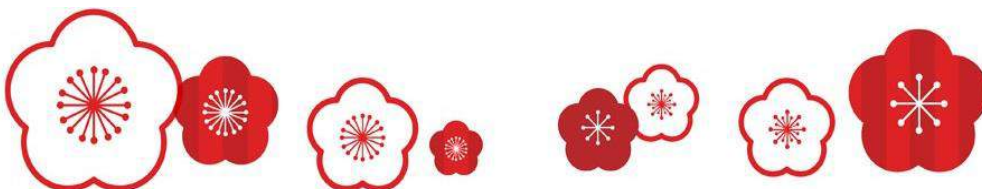
人材の育成と確保が課題

今日、少子超高齢社会が一層進展し、認知症の方が増加する中、深刻化する福祉介護人材の確保にどう向き合うのか。人材の重要性はますます高まり、我が国の社会福祉は、大きな転機を迎えています。

介護現場への外国人労働者の広がりが注目されていますが、課題も山積しています。

働き方改革関連法がこの春から全面施行となるのを受けて、働く環境や処遇面の改善など直面する課題の一つひとつ解決策を打ち出していかなければなりません。これからも初心を忘れず、一日一日を大切に過ごせる場として、心地よい環境づくりに努めてまいります。

結びになりますが、皆さまの益々のご健勝とご多幸を祈念しまして、ご挨拶とさせていただきます。今後も、これまでと変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。



外国人材の受け入れ加速

介護職らに外国人材がやってくる 9カ国から5年間に34万5千人

昨年末、成立した外国人材の受け入れ拡大に向け在留資格の創設を盛り込んだ出入国管理法改正は、4月から具体的に動きだします。

注目されるのは、どのような職種に、どの国から、どのような人材が何万人日本にやってくるのでしょうか。

主に東南アジアから、人材不足に悩む介護職をはじめ、建設業など14業種に、5年間で計34万5千人の外国人が来日の予定です。



インドネシアからの記念品の授与

日常会話程度の日本語試験があり 技能や知識測定の技能試験も実施

新たに創設される新在留資格「特定技能」に見合った技能や知識を有しているかを測る技能試験は、業務・職種内容ごとに実施される予定です。

報酬は、日本人と同等、あるいは同等以上を求めており、転職は業務の範囲内に限って可能。兼業は禁止されます。



(公財)フォトン・ジャパンフレンド インドネシア事業者と協定交わす

2015年2月に設立しました公益財団法人フォトン・ジャパンフレンド（以下フォトンJF）は、認知症の人たちが住みなれた地域で住み続けられるよう支援活動、環境づくりに取り組んでいるベルギー王国ブリュージュ市のNPO法人FOTONの活動に深い共感を覚え、設立したものです。

このフォトンJFは、このたび在日インドネシア大使館で介護労働者の日本語養成学校を営む『学修堂』との間で介護労働者の派遣に関して協定を交わしました。

昨年11月中旬、来日されたのはインドネシア・ボゴール州政府スタッフや国会議員（衆議院議員）、看護大学学長、助産師大学学長、それに『学修堂』の校長ら一行です。

一行は、昨年11月20日の午前、所沢の「真和の森」を、同日午後、飯能市の「円野」茨城県五霞町の特養きららの杜（社会福祉法人五霞愛隣会）、埼玉純真短期大学をそれぞれ見学し、実りのある意見交換ができました。



食い入るように説明に聞き入る一行

外国の介護人材とどう協働するか 近い将来の課題 心温まる交流を

外国からやってくる介護人材の方々は、希望を抱きながらも不安で胸がいっぱいなのです。受け入れる私たちも期待と不安がつきまといまいます。

その不安を払しょくし、双方が安心して働ける環境づくりに努めるのがフォトンJFの役割なのです。

働く人と事業者の相互理解が深まることを期待するばかりです。

2019年 新年の目標

～目標を掲げ、チャレンジする姿は美しい～

1年の計は元旦にありと、よく言われます。新鮮な気持ちになれる新たな年のはじめに、それぞれの人生の歩みの中で、新たな目標を掲げチャレンジする姿は美しいものです。2019年は亥年です。猪突猛進もいいでしょうが、一歩下がって地道でも、ある程度実現可能な目標を立てたいものです。

ただ、安易に実現できるようなことや、とても実現不可能な高すぎる目標は、目標とは言えません。自ら努力し、多くの職員の声を実際に聞き、その良さを取り入れた、なるほど素晴らしい目標だと言えるような内容を掲げ、チャレンジしましょう。

事業は人にあり

かの松下幸之助氏の言葉にもあるように、2019年は“人材養成”に注力、積極投資する
事務長 岡田 和家

常に満室を目指し運営する

1)短期利用者の円滑な運営
2)近隣の支援学校との連携を密にする
副施設長 古久保算子

利用者様の体調管理

利用者様の便秘改善につながるような献立を立てる
栄養課 磯ヶ谷千江美

チーム力の向上

1)ぶれない力、柔軟性を養う
2)利用者様の高齢化に伴う急変(痙攣)等の勉強会を定期的に専門医師に依頼する(年3回)
介護課係長 笠原 桂

有備無患

1)職員数が50名目前なため、衛生管理者資格を取得し準備する
2)クリニック開設や外国人技能実習生受入れ等、それぞれに必要な知識を身につける
事務課長 河内いつみ

スキルアップ

高次脳障害、認知症の勉強をしたい。障害についての勉強会に積極的に参加します。休憩時などに本を2ページ以上読み、自分自身のスキルアップが出来るように頑張る
介護課 山田恵美子

健康管理

私は介護職員になって4ヶ月ですが、知識や技能を習得するのは元より、利用者様に良いサービスを提供するためにも日頃から疾病や怪我の予防に努める
介護課 吉田 浩己

チームワーク

1)各階ごとに1日2回、報告・連絡・相談を行い、情報を共有する
2)ケース担当3人の生活の質の充実を図り、質の高いサービス提供を行う
介護課 柳平 貴子

接遇

1)自分自身がもう一度学ぶ
2)利用者、支援員全員に挨拶
3)年3~4回接遇について話し合いをする
介護課 大竹美知子

自己研鑽に努める (自分自身を磨く)

専門性を高め能力を向上させるよう努力する
外部研修に3つ以上参加し、習得したことにより、他職種との情報の共有・伝達が図れるよう勉強会を3つ以上行う
医務課 鈴木亜希子

自分自身のスキルアップ

2018年12月より喀痰吸引1号の研修に参加
介護課 高橋 進

継続

高級ホテルに従事しているイメージを忘れず、利用者様を平等に丁寧に…初心を忘れずに自分のスタイルを持つ
介護課 山口知恵子

委員会・行事を計画通り行う

1)イベント書類作成を行い、実行していく
2)委員会の在庫整理・確認・管理を行う
介護課 増井 武文

障害者への知識を深める

1)初めての担当利用者様を持つため、出勤日には朝夕1日2回は声かけをする
2)勉強会・講習会には積極的に参加する
介護課 島村 直紀

介護福祉士の資格取得

2019年、介護福祉士取得を目標とします。合格し、他の職員の手本となるよう努めます
介護課 鈴木 康夫

排泄ケアの質の向上

排泄パターンを把握し、一人一人に合った排泄ケアを支援し、生活の質を高めたい。利用者様の満足感を高めるとともにオムツのコストを下げていきたい
介護課 赤松美智子

利用者の安全と健康に注視

H30年は利用者のケガ・受診が目立ったため、さらに様子観察に重点を置く必要がある。これまで以上に会話交流を図り、起こりえる問題を早期発見・解決したい。まずは1日1名10分間膝を突合せ、じっくり話を聞いてゆく
介護課 辻 俊和

視野を広げて仕事に幅を持つ

研修に年3回以上参加、興味を持った本を年に6冊以上読み、勉強会や外部との関わり方に反映する
介護課 渡邊 恵子

薬の知識

薬に対する知識不足を痛感しているため、書籍や資料で学ぶ
介護課 津留 朱美

パソコンを使える人を増やす

パソコンを使える職員が少ないので希望者を募り、業務終了後(30分程)教本を使い、月1回勉強会を行い、使える人を2名増やす
介護課チーム長 茂山歩

より正しく、より楽しく

「正早安楽」のうち、「より早く」に重点が置かれていたと反省し、「正」と「楽」に力を注ぐ
介護課 田辺 欽也

総合目標

チームワーク力、表現力を高めよう!

京悠会スタイル【ノー・リフト・ケアの取り組み】

利用者の安全・安心を最優先し、職員の腰痛ゼロの実現・事故防止に役に立つ器具の活用

【低床ベッド】



利用者の事故の防止

高齢者や障害者の方は、思うように身体が動かせない場合があり、障害や状態に合った介護機器が必要となります。

そのため、転倒や転落の恐れがある利用者には、低床ベッドを使用し、下記の写真のように場面に応じて高さの調節を行い事故の防止に取り組んでいます。

導入以来、施設における転落、転倒による骨折などが大幅に減少しました。

最大床上11cmまで下がります！



眠る時はベッドを低くします。



寝相が悪くても・・・



段差がないので安心。

【自動体位変換エアマット】

モルテン社のオスカーエアマットを使用。



エアマットで、利用者の褥瘡と職員の腰痛をダブルで予防！

写真のエアマット（自動体位変換器付）は、右⇄正面⇄左を定期的に向きを変えながら、長時間からだへの負荷を分散させます。

それによって利用者の褥瘡予防と人力による体位交換を行わないことによる安眠を提供しています。

自動体位変換の一連の動作



また、積極的に介護機器の導入に取り組み、その相乗効果もあり、介護職員の腰痛予防を中心とした負担の軽減にもなっています。

当法人では、これからも安心安全を旨とした職員の負担軽減を追求します。

真和の森 秋祭り開催!!

～平成30年11月17日（土）～

晴天にも恵まれ、たくさんの方々にご来園いただきました。



秋空の下、おいしい食事、美しい音楽、楽しい会話に、はじける笑顔、素敵なひと時でした。

皆さまの暖かいご協力により、秋祭りを盛大に開催することができました。また、たくさんの地域住民やご家族にお越しいただき、この場をお借りして感謝申し上げます。



焼きなりの秋刀魚と名物チヂミ、出汁のきいた芋煮。みんなで食べるとさらに美味しい!

マジックショー in 円野



12月15日、ボランティアの福田 俊弘様によるマジックショーを開催しました。

慣れた手つきでハサミを操り、一枚の紙をさまざまな形に変身!

また、スティック、リング、ハンカチ、グラスなど身近な物を使ったマジックに利用者もビックリの連続でした。いったい、どうやってるんでしょう?!



ハサミひとつで、なんでも表現!



職員忘年会 一年間、お疲れ様でした！



今後のスケジュール

◆ 円野 ◆

行事

- 1月 お正月
- 2月 節分
- 3月 ひな祭り、防災訓練

職員研修

- 1月 事業計画策定について
- 2月 虐待防止について
- 3月 事故防止（ヒヤリハット見直し）

◆ 真和の森 ◆

行事

- 1月 初詣
- 2月 節分
- 3月 ひな祭り

職員研修

- 1月 アンガーマネジメント、認知症研修、口腔ケア研修
- 2月 感染予防研修
- 3月 事故防止研修

編集後記・・・広報誌を発行して4号目、1年が経過

京悠会の広報誌を2018年4月に第1号を発行、その後3ヵ月ごとに発行してまいりましたが、「広報誌」と銘を謳っただけに、ご利用者、ご家族をはじめ、関係者の皆様、及び円野・真和の森の役職員に、親しまれ、且つ読まれる紙面づくりを心がけてきました。

次号から、新たな企画の登場なども考えています。読者の皆様からの読後感、提案などが頂ければ、それが大きな力になります。どうぞ本年もよろしくご支援下さいますようお願いいたします。（MI・KO）

障害者支援施設 円野

〒357-0011 埼玉県飯能市川崎458
TEL042-975-3300 FAX042-975-3311
最寄り駅：高麗川駅（八高線）

特別養護老人ホーム 真和の森

〒359-0001 埼玉県所沢市下富1206-1
TEL04-2990-1133 FAX04-2990-1144
最寄り駅：新所沢駅（西武新宿線）

<http://www.kyoyukai.jp/>